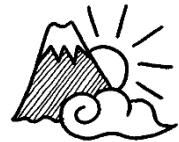


＜合歓のうた＞

— 2026年スタート —



あけましておめでとうございます。

皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

今年の干支は「午」です。馬は日本において古来より神の使いとして人々の願いを天に届ける存在とされてきました。絵馬には、そういった願いが込められているそうです。颯爽に駆け抜ける勢いを子ども達の姿と重ね生命力に満ち溢れる未来を願っています。

“Do”ではなく“Be”

先日、臨床心理士の方の文章に目が留まりました。私達大人は子どもをほめるとき「〇〇できたね。すごいね!」と「結果」に注目し、認めがちです。しかし、この「結果承認」は承認のうちの最上層。下層の土台がなければ結果をほめられても「認められた」と感じることができません。

〔5段階承認〕	〔行動〕	〔ことば〕
5.結果承認	最後までできた	できたね。すごいね。
4.プロセス承認	最後までやらなくても	途中までやっていたね。
3.行動承認	しぶしぶやったけれど	やり始めてくれてありがとう。
2.意識承認	やらなかつたけれど	やろうと思ったんだよね。
1.存在承認	やらなくても	〇〇ちゃんがニコニコで嬉しいな。

その子が何をしたか・できたか(Do)ではなく、その子らしさ(Be)を認めことばにして伝えていくことで自尊心の根っこを育むことにも繋がります。そして、それは大人にも大切なこと。自分を承認できてこそ他者(子ども)を承認できるのだ。とこのことを肝に銘じこれからも教職員一同一人ひとりに寄り添ってまいります。本年も どうぞよろしくお願ひいたします。

